

<年1回決算型・為替ヘッジあり>

第2期末 (2023年11月20日)	
基準価額	4,489円
純資産総額	55百万円
騰落率	△21.9%
分配金	0円

<年1回決算型・為替ヘッジなし>

第2期末 (2023年11月20日)	
基準価額	6,480円
純資産総額	70億円
騰落率	△10.4%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

グローバル・デジタル ヘルスケア株式ファンド (年1回決算型・為替ヘッジあり) (年1回決算型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2022年11月19日～2023年11月20日

第2期 (決算日 2023年11月20日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

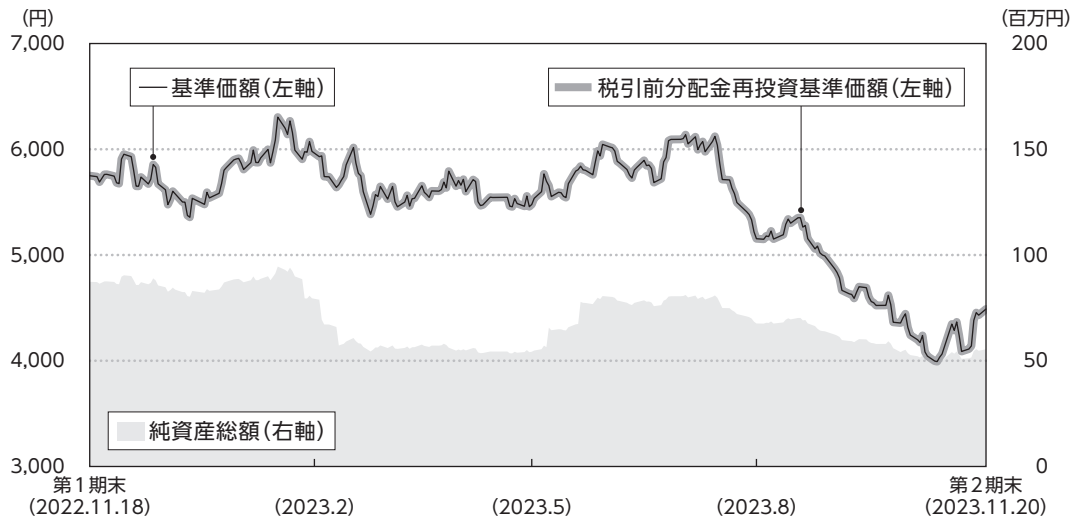
さて「グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド(年1回決算型・為替ヘッジあり)／(年1回決算型・為替ヘッジなし)」は、このたび第2期の決算を行いました。

各ファンドは、「グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過 2022年11月19日～2023年11月20日

基準価額等の推移



第2期首	5,750円	既払分配金	0円
第2期末	4,489円	騰落率 (分配金再投資ベース)	△21.9%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2023年1月上旬から2月上旬にかけて、大型テクノロジー企業の業績が好感され、グロース（成長）株やテクノロジー株への物色などにより株価が上昇したこと

<下落要因>

- ・3月中旬に米地銀の経営破綻に端を発した欧米金融機関への信用不安の高まりから株価が下落したこと
- ・8月上旬から10月末にかけて、中国の景気減速や不動産問題の深刻化に加え、原油価格の上昇や米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価が下落基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	104円	1.908%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,463円です。
(投信会社)	(51)	(0.940)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(51)	(0.940)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.033	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.033)	
有価証券取引税	2	0.033	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.033)	
その他費用	5	0.086	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(4)	(0.066)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.011)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.009)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	112	2.059	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

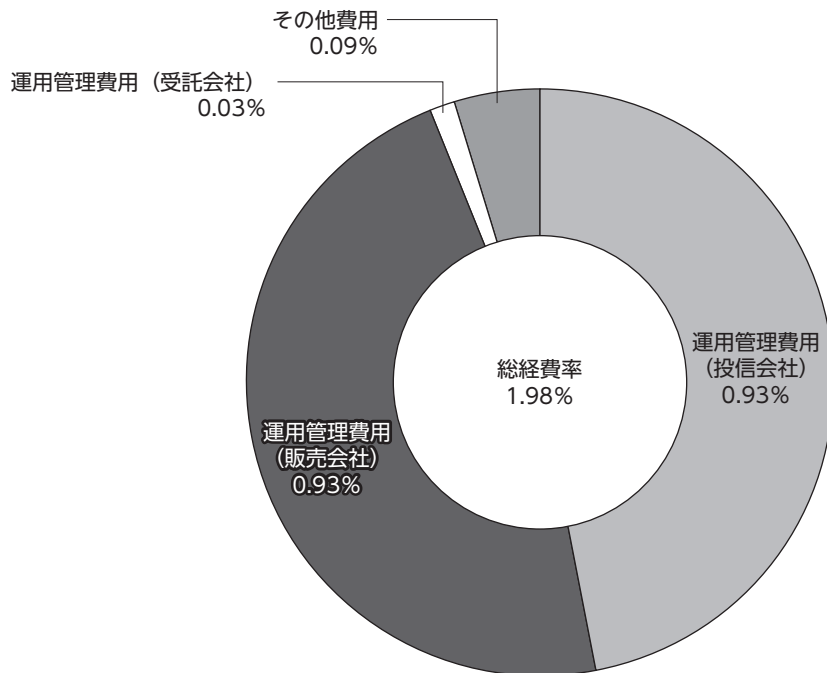
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.98%**です。



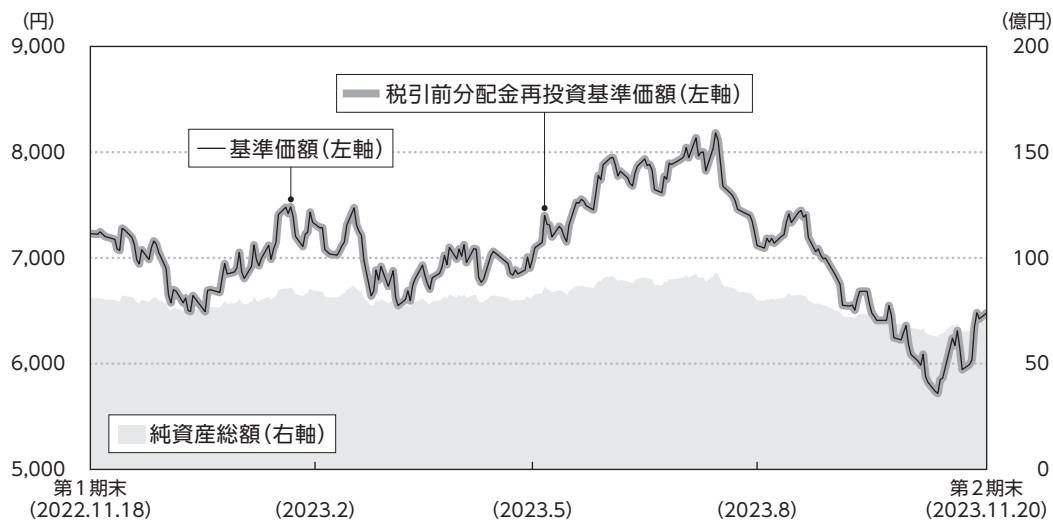
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第2期首	7,230円	既払分配金	0円
第2期末	6,480円	騰落率(分配金再投資ベース)	△10.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2023年1月上旬から2月上旬にかけて、大型テクノロジー企業の業績が好感され、グロース株やテクノロジー株への物色などにより株価が上昇したこと
- ・3月下旬から6月末にかけて、底堅い米経済指標の発表や、追加利上げ姿勢を示すF R Bと金融緩和姿勢を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが明確となったことなどから、米ドル高円安基調で推移したこと

<下落要因>

- ・3月中旬に米地銀の経営破綻に端を発した欧米金融機関への信用不安の高まりから株価が下落したことに加えて、米ドルが対円で下落したこと
- ・8月上旬から10月末にかけて、中国の景気減速や不動産問題の深刻化に加え、原油価格の上昇やF R Bの金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価が下落基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	135円	1.908%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,055円です。
(投信会社)	(66)	(0.940)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(66)	(0.940)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.034	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.034)	
有価証券取引税	2	0.034	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.034)	
その他費用	1	0.017	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.010)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	141	1.992	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

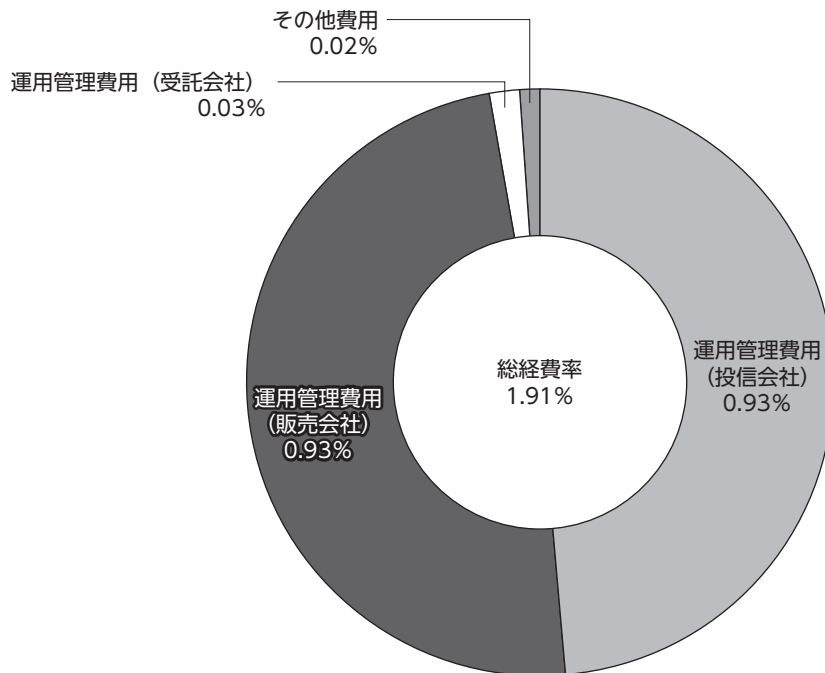
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.91%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

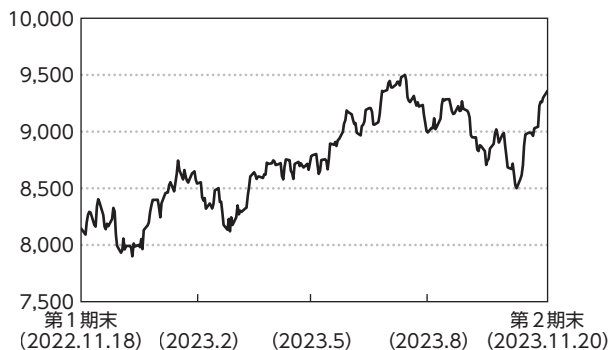
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス
(配当込み、米ドルベース)の推移】

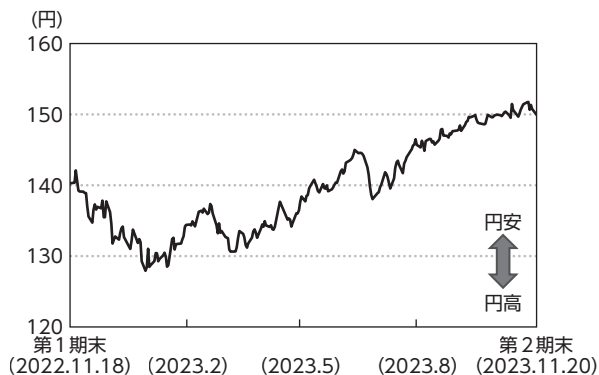


(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初から12月下旬にかけては、世界的な金利上昇圧力などを受けて株価は下落基調で推移しましたが、1月以降は大型テクノロジー企業の業績が好感され、グロース株やテクノロジー株への物色などを背景に上昇しました。その後、米地銀の経営破綻に端を発した欧米金融機関への信用不安から株価は下落したものの、7月中旬にかけては欧米金融当局による迅速な対応や生成人工知能(AI)を巡る期待感、中国政府の景気支援を強化する方針などから上昇基調で推移しました。8月上旬から10月末にかけては、中国の景気減速や不動産問題の深刻化に加え、FRBの金融引き締め長期化懸念などを受けて米金利が上昇したことが嫌気され、株価は下落基調で推移しました。その後、当期末にかけては、FRBをはじめとする主要中央銀行の金融引き締めが終了したとの観測が高まったことなどから、株価は大きく反発しました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初から1月中旬にかけて、FRBの利上げペースが緩和されるとの見方が強まったことなどから米ドル安円高基調で推移しました。その後、金融システム不安の高まりから米ドルが対円で下落する場面もありましたが、6月末にかけて底堅い米経済指標の発表や追加利上げ姿勢を示すFRBと金融緩和姿勢を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどから、米ドル高円安基調で推移しました。その後は内田日銀副総裁の発言を受けて金融緩和姿勢の修正期待が高まったことなどから米ドルが対円で下落しましたが、当期末にかけては日銀が本格的な金融政策の正常化まで時間を要するとの見方が広がったことなどから、米ドル高円安基調で推移しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお《年1回決算型・為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において原則として対円での為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における成長分野別配分は組入比率の高い順に、ヘルスピッグデータ（30.6%）、標的療法（26.1%）、高度診断（24.3%）、健康寿命の延伸（19.0%）としています。

また、当期末におけるサブセクター別配分は組入比率の高い順に、ヘルスケア機器・用品（30.8%）、ライフサイエンス・ツール／サービス（24.2%）、ヘルスケア・テクノロジー（18.0%）としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、アメリカ（83.3%）、ドイツ（4.9%）、中国（4.0%）、としています。

（注1）比率は対組入株式等評価額比です。

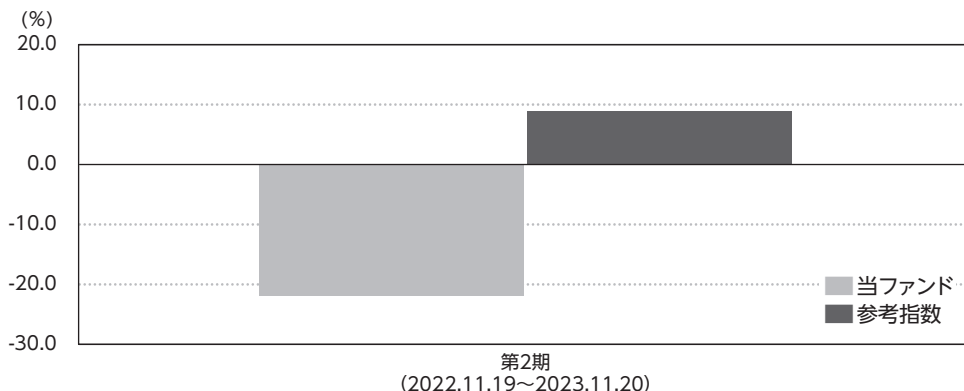
（注2）成長分野はラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーの分類によるものです。

（注3）サブセクターはGICS分類（産業）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注4）国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

参考指数との差異

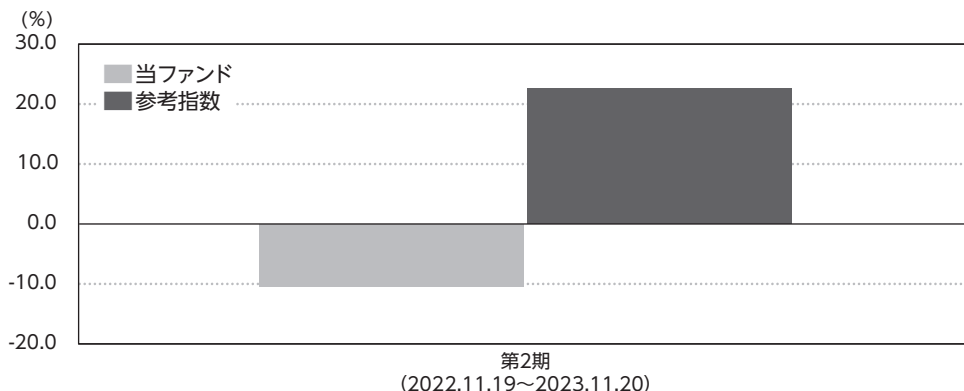
■年1回決算型・為替ヘッジあり



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-21.9%となり、参考指数騰落率（+8.9%）を下回りました。これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことによるものです。

■年1回決算型・為替ヘッジなし



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-10.4%となり、参考指数騰落率（+22.6%）を下回りました。これはマザーファンドにおいて、ヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことによるものです。

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

(注3) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

分配金

■年1回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年11月19日～2023年11月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1円

■年1回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年11月19日～2023年11月20日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「年1回決算型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において原則として対円での為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■マザーファンド

株式市場については、景気やインフレ、それに伴う欧米中央銀行の動向などに敏感な市場環境となっており、当面はこうしたマクロ経済要因により株式市場が上下するとみられます。インフレや金利上昇によるコストの増加、先進国における少子高齢化などを背景に、グローバルで見たヘルスケア関連の支出額が持続不可能と思われる水準に達してきていることもあり、このような課題を解決するためにヘルスケア産業におけるデジタル化という大きな流れは今後も進んでいくと考えています。

当マザーファンドでは、今後も革新的な製品・サービスの創出が期待されるデジタルヘルスケア企業への投資を継続します。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合することで新たな巨大市場が切り開かれると考えており、引き続き、従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会的課題の解決に貢献していくと期待される「ヘルスビッグデータ」、「高度診断」、「標的療法」、「健康寿命の延伸」の4つの成長分野に着目し、各分野において中長期的な成長が期待される銘柄を厳選して投資します。なお、注目する4つの成長分野の組入比率は各20～40%程度を目安として運用を行います。

ファンドデータ

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド（年1回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第2期末 2023年11月20日
グローバル・デジタルヘルスケア 株式マザーファンド	99.7%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

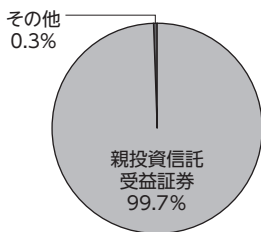
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

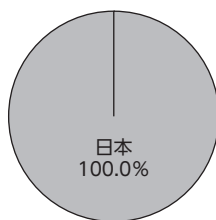
項目	第2期末 2023年11月20日
純資産総額	55,437,106円
受益権総口数	123,492,933口
1万口当たり基準価額	4,489円

(注) 当期間中における追加設定元本額は38,762,114円、同解約元本額は67,136,613円です。

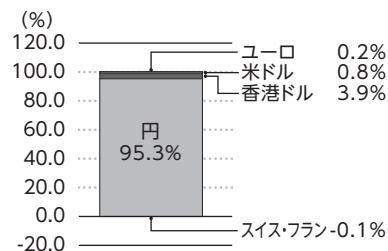
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年11月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド（年1回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第2期末 2023年11月20日
グローバル・デジタルヘルスケア 株式マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

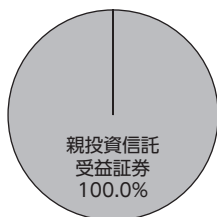
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

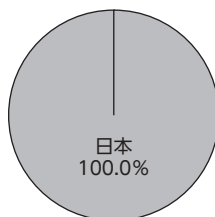
項目	第2期末 2023年11月20日
純資産総額	7,076,663,258円
受益権総口数	10,920,499,464口
1万口当たり基準価額	6,480円

(注) 当期間中における追加設定元本額は1,154,921,331円、同解約元本額は1,468,986,590円です。

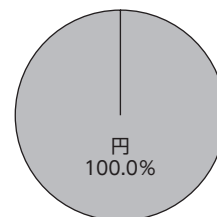
■資産別配分



■国別配分



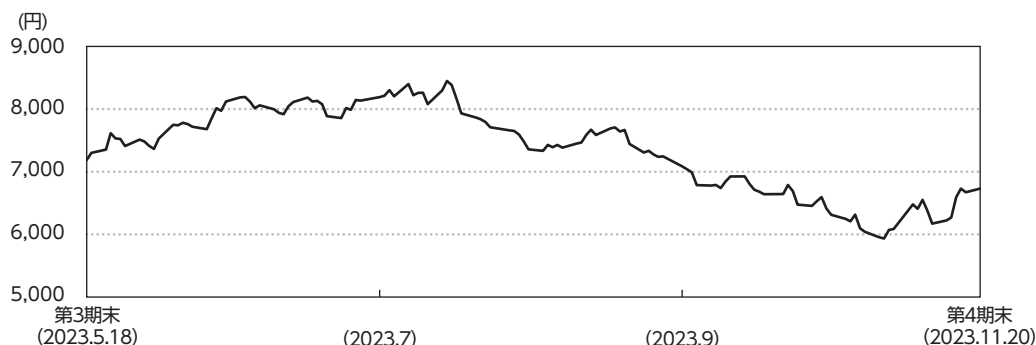
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年11月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

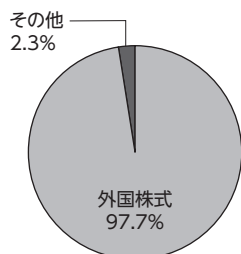
銘柄名	通貨	比率
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米ドル	5.3%
DOXIMITY INC-CLASS A	米ドル	5.1
SIEMENS HEALTHINEERS AG	ユーロ	4.8
CRISPR THERAPEUTICS AG	米ドル	4.8
IQVIA HOLDINGS INC	米ドル	4.7
SCHRODINGER INC	米ドル	4.5
HALOZYME THERAPEUTICS INC	米ドル	4.1
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	香港ドル	3.9
MEDTRONIC PLC	米ドル	3.8
NOVARTIS AG	スイス・フラン	3.7
組入銘柄数		37

■ 1万口当たりの費用明細

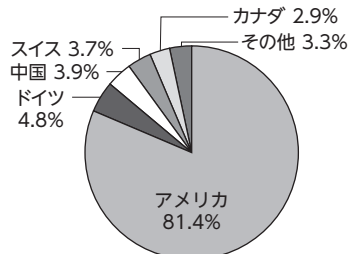
2023.5.19～2023.11.20

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)
合計	3

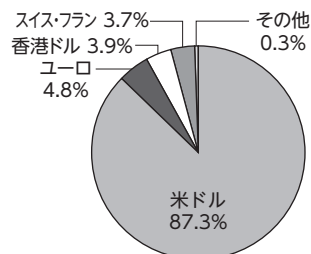
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年11月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
(設定日)	円	円	%	円		%	%	百万円
2021年11月19日	10,000	—	—	10,000	10,000	—	—	49
1期(2022年11月18日)	5,750	0	△42.5	5,750	8,413	△15.9	90.3	87
2期(2023年11月20日)	4,489	0	△21.9	4,489	9,160	8.9	97.4	55

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注6) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		参考指数	騰落率		株式 組入比率
	円		%			%	%
(期首)2022年11月18日	5,750		—	8,413		—	90.3
11月末	5,675	△	1.3	8,452		0.5	96.5
12月末	5,536	△	3.7	8,216	△	2.3	94.6
2023年1月末	5,872		2.1	8,603		2.3	97.3
2月末	5,665	△	1.5	8,545		1.6	99.4
3月末	5,536	△	3.7	8,592		2.1	95.7
4月末	5,474	△	4.8	8,738		3.9	98.5
5月末	5,555	△	3.4	8,819		4.8	100.7
6月末	5,828		1.4	9,129		8.5	101.5
7月末	6,074		5.6	9,426		12.0	100.8
8月末	5,340	△	7.1	9,241		9.8	98.2
9月末	4,700	△	18.3	8,863		5.3	100.3
10月末	3,992	△	30.6	8,523		1.3	97.1
(期末)2023年11月20日	4,489	△	21.9	9,160		8.9	97.4

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2022年11月19日～2023年11月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	44,054	32,845	75,027	54,548

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	21,142,860千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,372,107千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.86

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2022年11月19日～2023年11月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年11月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	113,062	82,089	55,254

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるグローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド全体の口数は33,567,040千口です。

投資信託財産の構成

2023年11月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	55,254	96.3
コール・ローン等、その他	2,093	3.7
投資信託財産総額	57,348	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月20日における邦貨換算レートは、1米ドル149.95円、1香港ドル19.23円、1スイス・フラン169.22円、1ユーロ163.54円です。

(注2) グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（22,530,169千円）の投資信託財産総額（22,635,798千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	109,558,276円
コール・ローン等	631,121
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド（評価額）	55,254,492
未収入金	53,672,663
(B) 負債	54,121,170
未払金	53,007,591
未払解約金	465,431
未払信託報酬	644,495
その他未払費用	3,653
(C) 純資産総額(A - B)	55,437,106
元本	123,492,933
次期繰越損益金	△ 68,055,827
(D) 受益権総口数	123,492,933口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,489円

(注1) 期首元本額 151,867,432円
 期中追加設定元本額 38,762,114円
 期中一部解約元本額 67,136,613円

(注2) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は68,055,827円です。

損益の状況

当期（2022年11月19日～2023年11月20日）

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 29円
受取利息	9
支払利息	△ 38
(B) 有価証券売買損益	△ 13,956,956
売却益	9,217,213
売却損	△ 23,174,169
(C) 信託報酬等	△ 1,378,338
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 15,335,323
(E) 前期繰越損益金	△ 27,278,729
（繰越欠損金）	（△ 27,278,729）
(F) 追加信託差損益金*	△ 25,441,775
（配当等相当額）	（ 7,999）
（売買損益相当額）	（△ 25,449,774）
(G) 合計(D + E + F)	△ 68,055,827
次期繰越損益金(G)	△ 68,055,827
追加信託差損益金	△ 25,441,775
（配当等相当額）	（ 12,609）
（売買損益相当額）	（△ 25,454,384）
繰越欠損金	△ 42,614,052

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本の差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	12,609円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	12,609円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	1.02円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	参考指数	期中 騰落率	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
(設定日)	円	円	%	円		%	%	百万円
2021年11月19日	10,000	—	—	10,000	10,000	—	—	1
1期(2022年11月18日)	7,230	0	△27.7	7,230	10,219	2.2	94.6	8,122
2期(2023年11月20日)	6,480	0	△10.4	6,480	12,530	22.6	97.7	7,076

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注5) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注6) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		参考指数	騰落率		株式 組入比率
	円		%			%	%
(期首)2022年11月18日	7,230		—	10,219		—	94.6
11月末	7,071	△	2.2	10,177	△	0.4	97.0
12月末	6,644	△	8.1	9,558	△	6.5	96.3
2023年 1月末	6,988	△	3.3	9,925	△	2.9	95.7
2月末	7,065	△	2.3	10,250		0.3	96.0
3月末	6,803	△	5.9	10,202	△	0.2	96.2
4月末	6,797	△	6.0	10,479		2.5	98.1
5月末	7,201	△	0.4	10,981		7.5	98.4
6月末	7,868		8.8	11,835		15.8	97.9
7月末	8,036		11.1	12,000		17.4	98.6
8月末	7,416		2.6	12,198		19.4	98.3
9月末	6,684	△	7.6	11,936		16.8	98.7
10月末	5,719	△	20.9	11,523		12.8	96.9
(期末)2023年11月20日	6,480	△	10.4	12,530		22.6	97.7

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2022年11月19日～2023年11月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	1,126,297	818,829	1,636,879	1,211,320

(注) 単位未満は切り捨てています。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	21,142,860千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,372,107千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.86

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2022年11月19日～2023年11月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年11月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	11,025,752	10,515,170	7,077,761

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるグローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド全体の口数は33,567,040千口です。

投資信託財産の構成

2023年11月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	千円 7,077,761	% 98.7
コール・ローン等、その他	92,725	1.3
投資信託財産総額	7,170,486	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月20日における邦貨換算レートは、1米ドル149.95円、1香港ドル19.23円、1スイス・フラン169.22円、1ユーロ163.54円です。

(注2) グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（22,530,169千円）の投資信託財産総額（22,635,798千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	7,170,486,956円
コール・ローン等	75,561,225
グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド(評価額)	7,077,761,109
未収入金	17,164,622
(B) 負債	93,823,698
未払解約金	16,088,210
未払信託報酬	77,438,178
その他未払費用	297,310
(C) 純資産総額(A - B)	7,076,663,258
元本	10,920,499,464
次期繰越損益金	△ 3,843,836,206
(D) 受益権総口数	10,920,499,464口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,480円

(注1) 期首元本額 11,234,564,723円
 期中追加設定元本額 1,154,921,331円
 期中一部解約元本額 1,468,986,590円

(注2) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,843,836,206円です。

損益の状況

当期(2022年11月19日～2023年11月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 15,578円
受取利息	2,023
支払利息	△ 17,601
(B) 有価証券売買損益	△ 649,908,740
売買益	62,599,246
売買損	△ 712,507,986
(C) 信託報酬等	△ 153,607,483
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 803,531,801
(E) 前期繰越損益金(繰越欠損金)	△ 1,368,890,787 (△ 1,368,890,787)
(F) 追加信託差損益金*	△ 1,671,413,618
(配当等相当額)	(2,377,812)
(売買損益相当額)	(△ 1,673,791,430)
(G) 合計(D + E + F)	△ 3,843,836,206
次期繰越損益金(G)	△ 3,843,836,206
追加信託差損益金	△ 1,671,413,618
(配当等相当額)	(2,674,488)
(売買損益相当額)	(△ 1,674,088,106)
繰越欠損金	△ 2,172,422,588

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	2,674,488円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	2,674,488円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	2.45円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■ 当社による「年1回決算型・為替ヘッジあり」の設定解約状況

前期末 残高(元本)	当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
			元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
49	-	49	-	-	-	当初設定時における取得分の処分

(注) 元本および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

■ 当社による「年1回決算型・為替ヘッジなし」の設定解約状況

前期末 残高(元本)	当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
			元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
1	-	1	-	-	-	当初設定時における取得分の処分

■ 各ファンドの約款変更

・以下の変更に伴い、関連条項に所要の変更を行いました。

- ①デリバティブ取引の利用目的を明確化
- ②信託期間の延長

(2023年8月19日)

■ 「年1回決算型・為替ヘッジあり」の参考指数について

新たに設定来の参考指数として「MSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）」を採用しました。

(2023年11月20日)

各ファンドの概要

		年1回決算型・為替ヘッジあり	年1回決算型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／株式		
信 託 期 間	2021年11月19日～2044年11月18日		
運 用 方 針	<p>グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。</p>		
		<p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。</p>	<p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド受益証券	
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	日本を含む各国の株式	
運用方法	グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 	
	グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>		

グローバル・デジタルヘルスケア株式 マザーファンド

運用報告書

第 4 期

(計算期間：2023年5月19日～2023年11月20日)

運用方針

- ①主に、日本を含む各国の株式を主要投資対象とし、優れた技術・サービスにより、従来のヘルスケア産業のあり方を根本から変革し、健康・医療を取り巻く社会課題の解決をリードすると期待されるデジタルヘルスケア企業に投資を行います。
- ②運用にあたっては、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用および外国為替予約取引の指図に関する権限を除きます。）を委託します。

主要運用 対象

日本を含む各国の株式

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

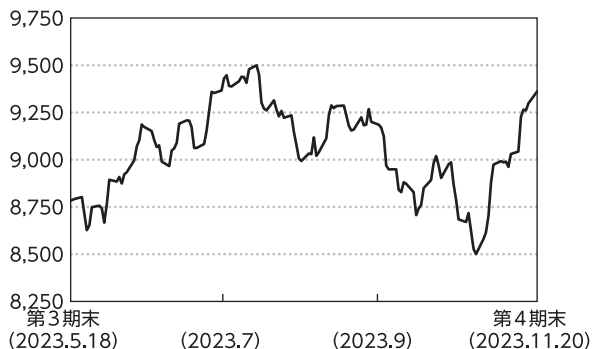
運用経過

2023年5月19日～2023年11月20日

投資環境

海外株式市況

【MSCIワールド・インデックス
(配当込み、米ドルベース)の推移】



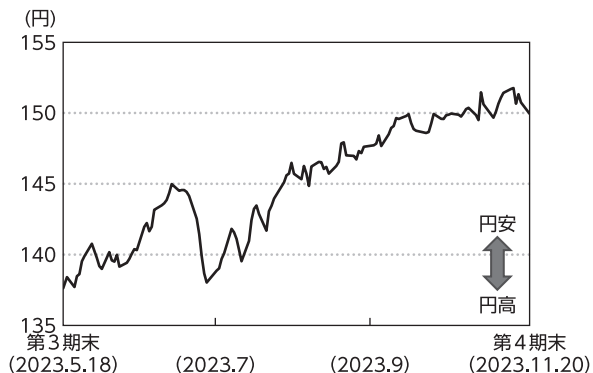
(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から7月末にかけて、堅調な米景気動向や生成AIを巡る期待感、米利上げ停止観測の高まりや中国政府の景気支援を強化する方針などから株価は上昇基調で推移しました。8月上旬から10月末にかけては、米大手半導体企業の生成AI需要拡大による好業績発表などによりAI関連銘柄を中心に反発する場面もありましたが、中国の景気減速や不動産問題の深刻化に加え、原油価格の上昇やFRBの金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価は下落基調で推移しました。その後、当期末にかけては、FRBをはじめとする主要中央銀行の金融引き締めが終了したとの観測が高まったことなどから、株価は大きく反発しました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】

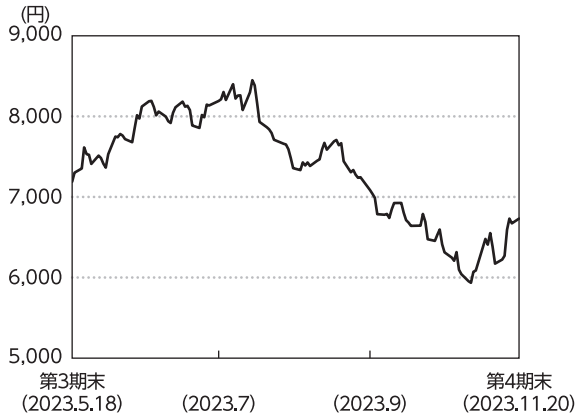


(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初から6月末にかけては、底堅い米経済指標の発表や追加利上げ姿勢を示すFRBと金融緩和姿勢を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが明確となったことなどにより、米ドル高円安基調で推移しました。しかし、7月上旬から中旬にかけては、内田日銀副総裁の発言を受けて金融緩和姿勢の修正期待が高まったことなどから、米ドルが対円で下落しました。その後、当期末にかけては、日銀が本格的な金融政策の正常化まで時間を要するとの見方の広まりや米経済に対する楽観的な見方の強まりなどを受けて米金利が上昇したことから、米ドル高円安基調で推移しました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・期初から7月末にかけて、堅調な米景気動向や生成AIを巡る期待感、米利上げ停止観測の高まりや中国政府の景気支援を強化する方針などから株価が上昇基調で推移したこと
- ・期初から6月末にかけて、底堅い米経済指標の発表や、追加利上げ姿勢を示すFRBと金融緩和姿勢を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが明確となったことなどから、米ドル高円安基調で推移したこと
- ・11月上旬から当期末にかけて、FRBをはじめとする主要中央銀行の金融引き締めが終了したとの観測が高まったことなどから、株価が反発したこと

<下落要因>

- ・8月上旬から10月末にかけて、中国の景気減速や不動産問題の深刻化に加え、原油価格の上昇やFRBの金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価が下落基調で推移したこと

ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、主にデジタルヘルスケア企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における成長分野別配分は組入比率の高い順に、ヘルスビッグデータ (30.6%)、標的療法 (26.1%)、高度診断 (24.3%)、健康寿命の延伸 (19.0%) としています。

また、当期末におけるサブセクター別配分は組入比率の高い順に、ヘルスケア機器・用品 (30.8%)、ライフサイエンス・ツール／サービス (24.2%)、ヘルスケア・テクノロジー (18.0%) としており、国・地域別配分は組入比率の高い順に、アメリカ (83.3%)、ドイツ (4.9%)、中国 (4.0%)、としています。

(注1) 比率は対組入株式等評価額比です。

(注2) 成長分野はラザード・アセット・マネージメント・エルエルシーの分類によるものです。

(注3) サブセクターはGICS分類 (産業) によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

参考指数との差異

当マザーファンドはベンチマークを設けていません。参考指数はMSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

当期の基準価額騰落率は-6.4%となり、参考指数騰落率（+16.1%）を下回りました。

これはヘルスケアセクターを対参考指数比で多めに組み入れていたことや、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したことなどによるものです。

（注1）参考指数の詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

（注2）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

今後の運用方針

株式市場については、景気やインフレ、それに伴う欧米中央銀行の動向などに敏感な市場環境となっており、当面はこうしたマクロ経済要因により株式市場が上下するとみられます。インフレや金利上昇によるコストの増加、先進国における少子高齢化などを背景に、グローバルで見たヘルスケア関連の支出額が持続不可能と思われる水準に達してきていることもあり、このような課題を解決するためにヘルスケア産業におけるデジタル化という大きな流れは今後も進んでいくと考えています。

当マザーファンドでは、今後も革新的な製品・サービスの創出が期待されるデジタルヘルスケア企業への投資を継続します。従来のヘルスケア産業とデジタルテクノロジーが融合することで新たな巨大市場が切り開かれると考えており、引き続き、従来のヘルスケア産業に大きな変革をもたらし、社会的課題の解決に貢献していくと期待される「ヘルスビッグデータ」、「高度診断」、「標的療法」、「健康寿命の延伸」の4つの成長分野に着目し、各分野において中長期的な成長が期待される銘柄を厳選して投資します。なお、注目する4つの成長分野の組入比率は各20~40%程度を目安として運用を行います。

お知らせ

■約款変更

デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年8月19日)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中	参考指数	期中	株式 組入比率	純資産 総額
		騰落率		騰落率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2021年11月19日	10,000	—	10,000	—	—	100
1期(2022年5月18日)	7,007	△29.9	9,707	△ 2.9	95.3	19,597
2期(2022年11月18日)	7,367	5.1	10,219	5.3	94.6	25,040
3期(2023年5月18日)	7,188	△ 2.4	10,789	5.6	98.4	25,199
4期(2023年11月20日)	6,731	△ 6.4	12,530	16.1	97.7	22,595

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 参考指数は設定時を10,000として指数化しています。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注4) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株式 組入比率
	円	%		%	%
(期首)2023年5月18日	7,188	—	10,789	—	98.4
5月末	7,412	3.1	10,981	1.8	98.4
6月末	8,112	12.9	11,835	9.7	97.9
7月末	8,298	15.4	12,000	11.2	98.6
8月末	7,670	6.7	12,198	13.1	98.3
9月末	6,924	△ 3.7	11,936	10.6	98.7
10月末	5,934	△17.4	11,523	6.8	96.9
(期末)2023年11月20日	6,731	△ 6.4	12,530	16.1	97.7

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年5月19日～2023年11月20日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)	0.016% (0.016)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.015 (0.015)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.006 (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.037	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（7,369円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年5月19日～2023年11月20日

株式

	買付		売付		
	株数	金額	株数	金額	
外国	アメリカ	百株 10,417	千米ドル 29,894	百株 9,149	千米ドル 33,344
	香港	5,150	千香港ドル 20,999	3,300	千香港ドル 14,886
	スイス	72 (137)	千スイス・フラン 649	477	千スイス・フラン 7,011
	ユーロ ドイツ	342	千ユーロ 1,792	48	千ユーロ 232

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年5月19日～2023年11月20日

株式

銘柄	買付			売付			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
LANTHEUS HOLDINGS INC	76	921,644	12,082	IQVIA HOLDINGS INC	31	966,030	30,531
TRANSMEDICS GROUP INC	78	694,470	8,866	ROCHE HOLDING AG	22	922,107	41,528
MEDTRONIC PLC	40	482,020	11,976	EXACT SCIENCES CORP	43	541,492	12,383
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	515	381,295	740	CATALENT INC	69	431,479	6,164
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	35	357,393	9,937	SCHRODINGER INC	57	398,256	6,886
DOXIMITY INC-CLASS A	80	301,867	3,745	OMNICELL INC	33	349,442	10,488
SIEMENS HEALTHINEERS AG	34	286,579	8,359	10X GENOMICS INC-CLASS A	35	317,764	8,950
SHOCKWAVE MEDICAL INC	7	232,799	30,871	GUARDANT HEALTH INC	53	297,713	5,536
EXSCIENCIA PLC	245	215,930	880	VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	10	294,367	28,008
PHREESIA INC	68	207,893	3,054	WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	330	283,895	860

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2023年11月20日現在

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
10X GENOMICS INC-CLASS A	923	568	2,396	359,320	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ABCELLERA BIOLOGICS INC	8,243	9,740	4,353	652,863	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACCOLADE INC	1,097	1,055	850	127,568	ヘルスケア機器・サービス
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	1,954	1,880	810	121,548	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AZENTA INC	797	467	2,576	386,391	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEAM THERAPEUTICS INC	581	559	1,537	230,543	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CATALENT INC	1,929	1,229	4,901	734,943	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CRISPR THERAPEUTICS AG	1,112	1,070	7,264	1,089,322	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DEXCOM INC	393	378	3,973	595,799	ヘルスケア機器・サービス
DOXIMITY INC-CLASS A	2,416	3,112	7,668	1,149,915	ヘルスケア機器・サービス
EXACT SCIENCES CORP	945	508	3,370	505,365	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXSCIENTIA PLC	-	2,383	1,454	218,028	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	-	356	2,601	390,127	ヘルスケア機器・サービス
GUARDANT HEALTH INC	1,870	1,473	3,430	514,427	ヘルスケア機器・サービス
HALOZYME THERAPEUTICS INC	1,315	1,553	6,203	930,260	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HEALTH CATALYST INC	2,991	2,877	2,241	336,144	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	299	287	2,714	406,972	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	357	379	5,325	798,527	ヘルスケア機器・サービス
INTELLIA THERAPEUTICS INC	994	956	2,690	403,418	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IQVIA HOLDINGS INC	662	346	7,087	1,062,720	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LANTHEUS HOLDINGS INC	-	741	5,058	758,547	ヘルスケア機器・サービス
MAXCYTE INC	4,389	4,223	1,752	262,811	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MEDTRONIC PLC	402	774	5,789	868,167	ヘルスケア機器・サービス
NEVRO CORP	1,349	1,431	2,373	355,835	ヘルスケア機器・サービス
OMNICELL INC	1,040	706	2,340	350,959	ヘルスケア機器・サービス
OUTSET MEDICAL INC	1,810	2,523	1,302	195,289	ヘルスケア機器・サービス
PELTON INTERACTIVE INC-A	1,052	-	-	-	耐久消費財・アパレル
PHENOMEX INC	2,839	-	-	-	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PHREESIA INC	2,300	2,883	4,529	679,176	ヘルスケア機器・サービス
RECURSION PHARMACEUTICALS-A	3,283	3,648	2,572	385,680	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RENALYTIX AI PLC-ADR	1,370	1,327	74	11,147	ヘルスケア機器・サービス
SCHRODINGER INC	2,361	2,206	6,809	1,021,080	ヘルスケア機器・サービス

グローバル・デジタルヘルスケア株式マザーファンド

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千米ドル	千円	
SHOCKWAVE MEDICAL INC		162	230	3,962	594,244	ヘルスケア機器・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		207	172	8,054	1,207,788	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRANSMEDICS GROUP INC		–	771	5,302	795,157	ヘルスケア機器・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A		397	292	5,165	774,522	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	51,851	53,119	128,540	19,274,618	
	銘柄数<比率>	32	34	–	<85.3%>	
(香港)				千香港ドル		
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC		7,855	9,705	45,856	881,813	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	7,855	9,705	45,856	881,813	
	銘柄数<比率>	1	1	–	<3.9%>	
(スイス)				千スイス・フラン		
NOVARTIS AG		632	586	4,932	834,643	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROCHE HOLDING AG		222	–	–	–	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	854	586	4,932	834,643	
	銘柄数<比率>	2	1	–	<3.7%>	
(ドイツ)				千ユーロ		
SIEMENS HEALTHINEERS AG		1,037	1,331	6,662	1,089,622	ヘルスケア機器・サービス
小計	株数・金額	1,037	1,331	6,662	1,089,622	
	銘柄数<比率>	1	1	–	<4.8%>	
合計	株数・金額	61,598	64,742	–	22,080,696	
	銘柄数<比率>	36	37	–	<97.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

投資信託財産の構成

2023年11月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	22,080,696	97.5
コール・ローン等、その他	555,101	2.5
投資信託財産総額	22,635,798	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月20日における邦貨換算レートは、1米ドル149.95円、1香港ドル19.23円、1スイス・フラン169.22円、1ユーロ163.54円です。

(注2) 外貨建純資産 (22,530,169千円) の投資信託財産総額 (22,635,798千円) に対する比率は99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月20日現在)

項目	当期末
(A)資産	22,635,798,378円
コール・ローン等	555,101,541
株式(評価額)	22,080,696,837
(B)負債	40,171,866
未払解約金	40,171,730
その他未払費用	136
(C)純資産総額(A-B)	22,595,626,512
元本	33,567,040,879
次期繰越損益金	△10,971,414,367
(D)受益権総口数	33,567,040,879口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,731円

(注1) 期首元本額 35,059,430,777円
 期中追加設定元本額 1,164,808,127円
 期中一部解約元本額 2,657,198,025円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年1回決算型・為替ヘッジあり) 82,089,575円
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年1回決算型・為替ヘッジなし) 10,515,170,271円
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年2回決算型・為替ヘッジあり) 247,207,706円
 グローバル・デジタルヘルスケア株式ファンド
 (年2回決算型・為替ヘッジなし) 22,722,573,327円

(注3) 元本の欠損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は10,971,414,367円です。

損益の状況

当期 (2023年5月19日~2023年11月20日)

項目	当期
(A)配当等収益	25,272,926円
受取配当金	17,987,022
受取利息	7,339,184
支払利息	△53,280
(B)有価証券売買損益	△1,520,654,992
売買益	3,855,485,019
売買損	△5,376,140,011
(C)信託報酬等	△1,471,115
(D)当期損益金(A+B+C)	△1,496,853,181
(E)前期繰越損益金	△9,860,053,510
(F)追加信託差損益金	△296,121,123
(G)解約差損益金	681,613,447
(H)合計(D+E+F+G)	△10,971,414,367
次期繰越損益金(H)	△10,971,414,367

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・MSCIワールド・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- ・MSCIワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。